

きたぎんSDGs経営サポート

～ SDGs経営目標設定とサプライチェーンの貢献インパクト～

きたぎんSDGs経営サポートは、国際的な指針である「SDGcompass」、経済産業省の価値協創ガイダンス、金融安定理事会(FSB)の気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)を参考に企業のSDGsに基づく戦略策定を支援するものです。

本サービスをきっかけとして、経営者および従業員に対するSDGsの理解を浸透することができ、持続可能な経営基盤の強化につながるよう、リレーションシップバンキングとしての地域金融機関の役割を果たして参ります。

きたぎんSDGs経営サポートの開発は、株式会社日経リサーチ「SDGs経営推進プロジェクト」に協力いただいています。

<ご利用条件>

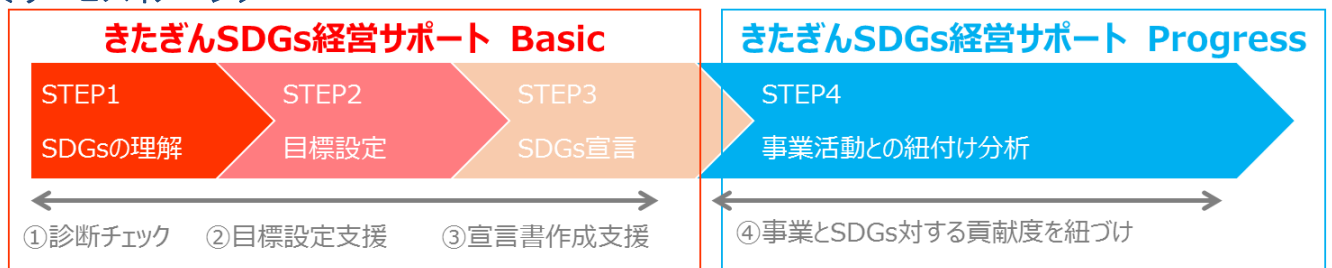
■ きたぎんSDGs経営サポート Basic

| | | | |
|--------|--|-----------|-----------------------|
| 名称 | きたぎんSDGs経営サポート Basic(基本版) | | |
| 目的 | SDGs経営の現状分析により、優先課題を決定し、SDGsの取り組みについて目標設定し宣言することで、社内におけるSDGs経営の浸透を図る ※Basicは企業全体の経営に関するSDGsの浸透を目的としており、サプライチェーン分析による自社の具体的な事業に関する未来志向の貢献度を見える化し、ビジョン経営として表現する場合はProgressを利用する | | |
| 対象者 | 当行と預金取引のある法人のお客さま | | |
| サービス内容 | STEP 1 | SDGsを理解する | SDGs経営診断チェックシートによる分析 |
| | STEP 2 | 優先課題を決定する | ワークシートを活用した優先課題の決定 |
| | STEP 3 | 目標を設定する | SDGs宣言書の策定支援(当行HPで掲載) |
| 成果物 | 診断報告書、SDGs経営宣言書 | | |
| 取扱手数料 | 110,000円(消費税込) | | |

■ きたぎんSDGs経営サポート Progress

| | | | |
|--------|---|-------------|---------------------------|
| 名称 | きたぎんSDGs経営サポート Progress(発展版) | | |
| 目的 | Basicに加え、サプライチェーン分析による自社の具体的な事業に関する貢献度を見える化し、未来志向のビジョン経営として発信する | | |
| 対象者 | きたぎんSDGs経営サポートBasicを利用したお客さま限定 | | |
| サービス内容 | STEP 1 | サプライチェーン分析 | 事業が与える正負の影響を分析する |
| | STEP 2 | ロジックモデル分析 | 事業活動の流れとSDGs貢献度を分析する |
| | STEP 3 | 未来志向のビジョン設定 | 事業活動に関してバックカスティングでビジョンを設定 |
| 成果物 | サプライチェーン分析マップおよび貢献度を示した「価値創造ストーリー」の発信 | | |
| 取扱手数料 | 330,000円(消費税込) ※BasicおよびProgress両方のサービスを含む | | |

<サービスイメージ>



きたぎん S D G s 経営サポート

～ S D G s 経営目標設定とサプライチェーンの貢献インパクト～

SDGsに取り組む企業の皆さまをサポートします

Point 1

SDGs経営サポート Basic

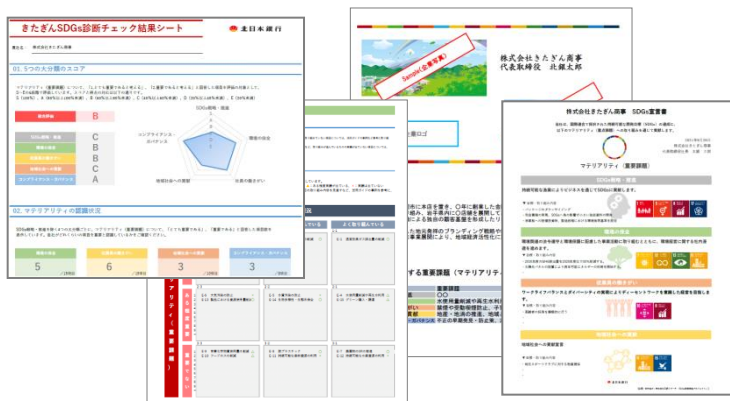
- 自社のSDGsの取り組みの見える化
- 宣言書によるSDGsの取り組みをPR
- 社内への意識醸成

Point 2

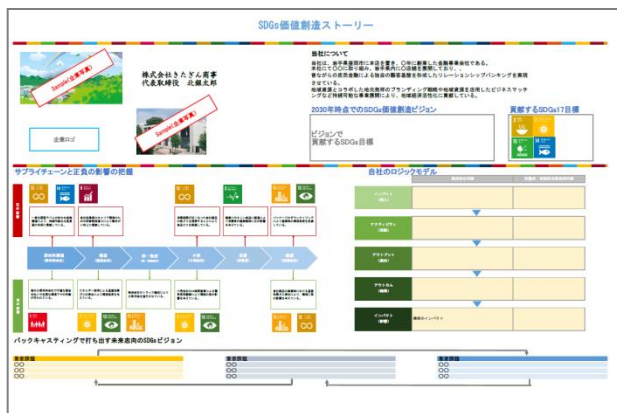
SDGs経営サポート Progress

- サプライチェーンの見える化
- 事業活動における正負の影響分析
- 未来志向のビジネスビジョンの取り組み強化

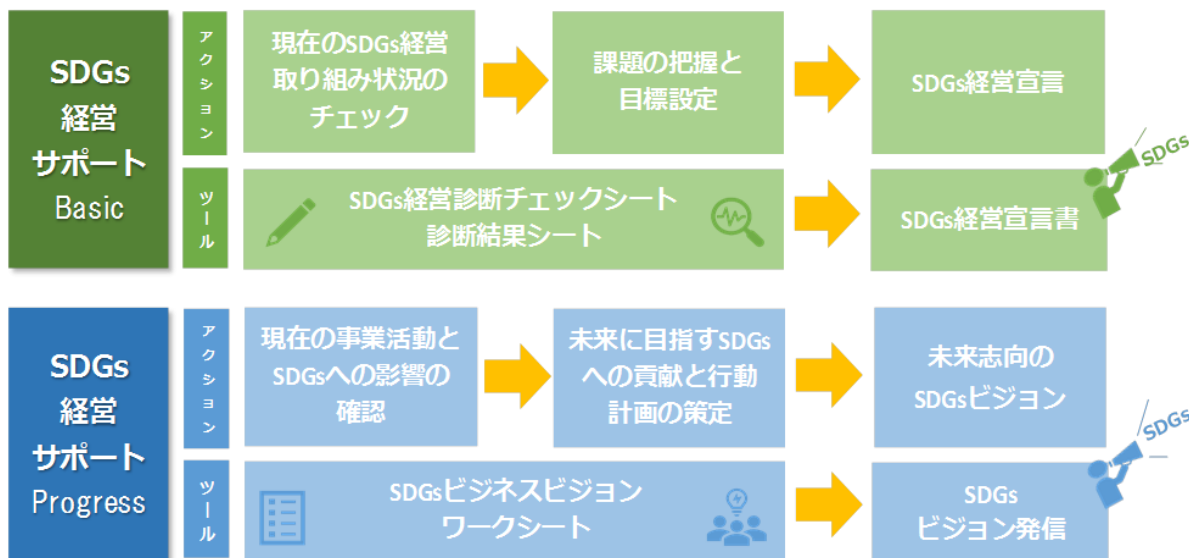
<成果物イメージ> [Basic]



[Progress]



<ご利用の流れ>



※持続可能な開発目標SDGsエス・ディー・ジーズとはSDGsはSustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。2015年9月の国連サミットで採択された国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、2030年までに社会が抱える問題を解決し、地球上の「誰一人として取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

北日本銀行は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。